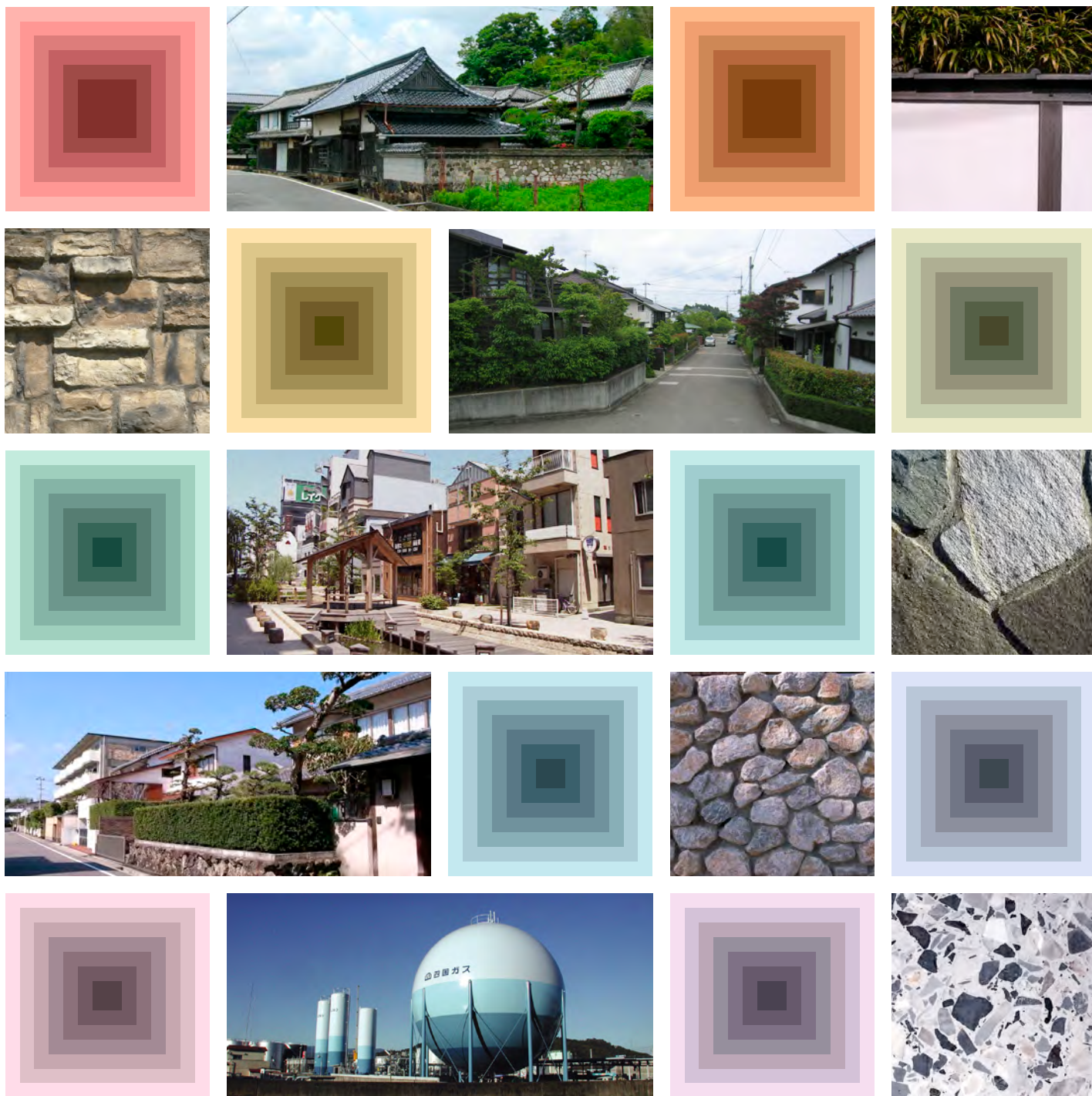




高知市景観計画色彩ガイドライン

まちなみは、そこにある建築物や構造物の素材、色、形や面積などにあわせて、その背景となる山なみや空の色彩といった要素で構成されています。たとえ個別の建築物は美しくても、周辺の建築物等や風景とともにまとまった眺めとして見ると、違和感を覚えることがあります。このように、まちなみ景観は、建築物などの連なりや周辺との調和によりつくり出されます。その中でも色彩は、美しさや個性を印象付ける重要な要素となります。

このガイドラインは、「色彩の考え方」、「色彩特性」、「配色手法」などを紹介することにより、色彩プランを検討する参考にいただき、良好な景観の形成に資することを目的としています。



1. 色彩の考え方

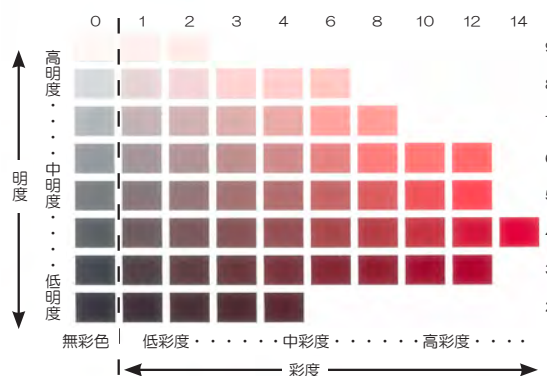
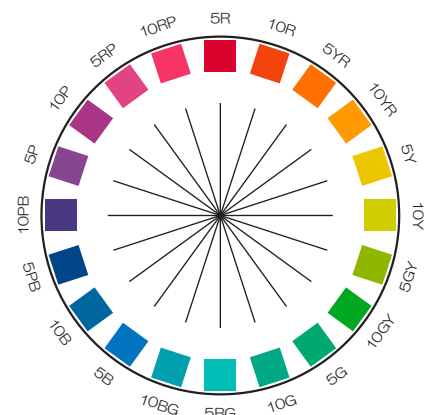
まちなみは、そこにある建築物や構造物の素材、色、形や面積などと相まって、その背景となる山なみや空の色彩といった要素で構成されています。たとえ個別の建築物は美しくても、周辺の建築物等や風景とともにまとまった眺めとして見ると、違和感を覚えることがあります。このように、まちなみ景観は、建築物などの連なりや周辺との調和によりつくり出されます。

その中でも色彩は、美しさや個性を印象付ける重要な要素となります。建築物などの外観の色彩は、地域の自然や歴史、周辺の建築物等との連続性などに配慮して選ぶことが大切です。

色彩とは

色彩は、白や黒といった「無彩色」と赤や青といった「有彩色」に分けて論じられます。有彩色は、赤・青・黄・緑といったいくつかの色合いに分けることができ、これを「色相^{しきそう}」といいます。また、無彩色も有彩色も明るさの違いがあり、これを「明度^{めいど}」といいます。さらに、有彩色では、あざやかさの違いがあり、これを「彩度^{さいど}」といいます。

この「色相」と「明度」と「彩度」を色の三属性といい、それぞれを、記号と数値で表すことにより、1つの色を特定することができます。このように三属性により色を特定する方法が、「マンセル表色系」であり、日本工業規格（JIS）に採用されています。



色相

色の種類を表すもので、基本の5色として赤 (R) 黄 (Y) 緑 (G) 青 (B) 紫 (P)、その中間の5色として黄赤 (YR) 黄緑 (GY) 青緑 (BG) 青紫 (PB) 赤紫 (RP) の合計 10 色に分割し、さらにそれらを 10 分割した 100 色相で表現します。更に、有彩色では、あざやかさの違いがあり、これを「彩度」といいます。

明度

色の明るさを示すもので、白を明度 10、黒を明度 0 とし、その中間を 2～9 の数字で表現します。

彩度

色の鮮やかさを示すもので、色のない無彩色を 0 とし、色の鮮やかさの度合いにより数字を大きくしていきます。ただし彩度は色相と明度によって最大値が異なります。



2. 高知の色彩特性

山々に囲まれ、緑や史跡に恵まれた高知では、「自然の色」「歴史的な色」が高知らしさを醸し出す色彩となります。また、中心市街地の中高層建築物が建ち並ぶ地域では、「明るい色」が多くなっています。

自然の色

自然が豊かな高知では、季節の変化とともにさまざまな自然の表情を見ることができます。田畑は新緑から深緑に変わり、秋の収穫時には稲穂が黄金色に輝きます。春の山々には新緑に山桜のピンクが散らばり、秋には美しい紅葉が見られます。川や海は高知の強い日差しを受けて輝き、抜けるような青空を写しこみます。



7.5GY 5/6

10B 8/4

5B 9/1



7.5GY 3/4

10YR 3/1

5B 9/1



5B 6/8

10B 8/4

5B 9/1

歴史的な色

寺社仏閣や古い民家の深みのある木材、石畳や石垣の自然石、高知独特の土佐瓦や土佐漆喰など、自然素材が時を経ることによって、自然と調和した、ぬくもりを感じる色に変わり、歴史を感じさせます。



7.5GY 3/4

10YR 3/1

5Y 9.2/1



2.5Y 10/2

5YR 5/5

N6



10YR 3/1

5YR 9/1

5B 4/1

明るい色

太平洋に面し南国に位置する高知市では、気温が高く、日差しも強いいためか、中心市街地における多くの中高層建築物の壁面は、明るい色となっており、これが高知の景観の一つの特徴となっています。



N8

5Y 8/1

5Y 9/1



2.5YR 8/1

5R 9/1

10GY 8/1



N9

10B 7/1

5YR 8/1

3. まちなみ景観の課題と方針

まちなみの現状と課題

高知のまちなみには、自然や歴史的な色に加えて、多様な色彩が使われています。建築物などの壁面色は、YR（橙）系からY（黄）系の彩度の低い落ち着いた茶系や白・生成りといった穏やかなものが多く見られます。その一方で、周辺市街地の大規模店舗などでは、一部に派手で突出した色彩が見られるとともに、屋外広告物が、まちの色彩の調和を乱しています。

これより、本市における色彩の課題として、①色彩の調和、②アクセントなどの色使いの工夫、③地域特性に配慮した色彩計画があげられます。



色彩計画の方針

1. 周辺環境や建築物との調和に配慮する。
2. 色の組み合わせ、それぞれの面積、色遣いを工夫する。
3. 高知の色彩特性や、地域のシンボルとなるものの色を生かす。



高知県の地場材料である、土佐漆喰、石灰岩、木材などの色彩が、これまでの高知のまちなみ色彩を特徴付けてきました。現在では、このような伝統的な素材以外にも、県内外から優れた建設材料の入手が可能ですが、色彩の観点から高知らしいまちなみを形成するために、このような素材の持つ色合いを参考にすることが望まれます。



近年では、企業のコーポレートカラーを大きな面積に利用するのではなく、アクセントカラーとして利用したり、「図」と「地」の反転などの手法を用いることによって、景観へ配慮した事例が見受けられるようになっていきます。

4. まちなみ景観の配色手法

まちなみ景観とは、「建築物などの連なりや周辺との調和によりつくり出される風景」です。建築物などの配色手法により、まちなみの美しさや個性を生むことができます。

① 周辺との調和

同じ形態の建築物であっても、さまざまな色が無秩序に並ぶと雑然とした印象を受けます。また、全て同じ色に統一すると、整然とはしますが、退屈な印象を与えます。魅力のあるまちなみ景観は、全体の統一と秩序ある意匠とすることによりつくられます。



色彩に統一感が無く、ばらばらなまちなみ



全て同一色で整っているが、単調なまちなみ



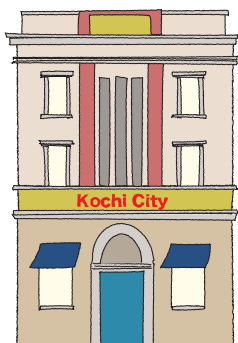
1) 同じような色相でそろえる



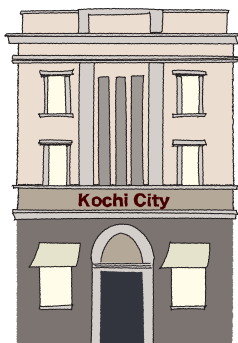
2) 同じような明度・彩度でそろえる

② 建築物単体の配色手法、アクセントカラーの使い方

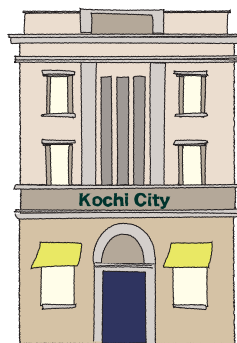
建築物の色彩は、建築物の個性を印象付ける効果があります。しかし、使用する色の数や色合い、面積などにより、見るものに対して圧迫感や雑然さを感じさせてしまいます。同じ系統の色相を使い、全体を3色程度にまとめると、整然とした印象となり周辺との調和も取りやすくなります。また、個性を表現するためには、遠景からも見ることのできる高層部や大きな壁面には、彩度の高い色や明度の低い色を使わないようにし、少量のアクセントカラーなどで変化をつけて表現することにより、魅力のあるまちなみ景観となります。



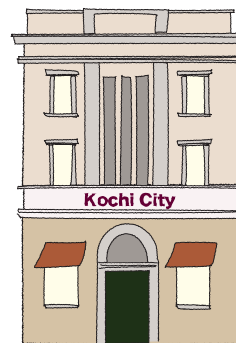
色や色数・面積が整理されずに雑然としている



1) 上層部にいくほど明るい色を用い、圧迫感を軽減し安定感をもたらす



2) サブカラーやアクセントカラーを用いることにより、単調さが軽減できる



3) サブカラーやアクセントカラーの色使いにより、雰囲気が変わる

③ 自然ゾーン

木材や土佐漆喰、瓦、自然石など、自然の素材や伝統的な建材を使用する、または、調和する色を使用する。神社・仏閣や歴史的な住宅など、地域の歴史的な資源を生かすような素材を活用し、調和のとれた形態とする。経年変化による古色など、落ち着いた風情に配慮し低彩度の色彩とする。



推奨色 **2.5YR 3/4** **5YR 8/1** **5Y 9/1** **N6** **5YR 4/2** **10YR 3/1** **2.5Y 10/2** **5YR 5/5**

色相は天然素材に多いYR-Y系。明度は明暗対比（高明度・低明度）もよい。彩度は古色を生かす低彩度や無彩色。

④ 低層住宅ゾーン

周辺の自然環境と調和のとれた色を使用する。個性を主張するのではなく、まち全体の魅力を高めるよう配慮する。



推奨色 **2.5YR 3/4** **5YR 8/1** **10Y 8/1** **N6** **2.5R 4/3** **10YR 3/1** **10YR 9/5** **5B 4/1**

色相は天然素材に多いYR-Y系。明度は明暗対比（高明度・低明度）もよい。

⑤ 周辺市街地ゾーン

木材や土佐漆喰、瓦、自然石など、自然の素材や伝統的な建材を使用する、または、調和する色を使用する。歴史的な住宅など、地域の歴史的資源を生かすよう配慮する。個性を主張するのではなく、まち全体の魅力を高めるよう配慮する。



推奨色 **2.5YR 3/4** **10P 7/1** **5Y 9/1** **7.5Y 9/2** **2.5GY 8/1** **7.5B 9/1** **2.5Y 9/1** **N6**

色相は天然素材に多いYR-Y系。明度は明暗対比（高明度・低明度）もよい。彩度は古色を生かす低彩度や無彩色。

⑥ 都心ゾーン

木材や土佐漆喰、瓦、自然石など、自然の素材や伝統的な建材を使用する、または、調和する色を使用する。個性を主張するだけではなく、まち全体の魅力を高めるよう配慮する。高層部は、圧迫感を感じさせないように明度の高い色を使用する。

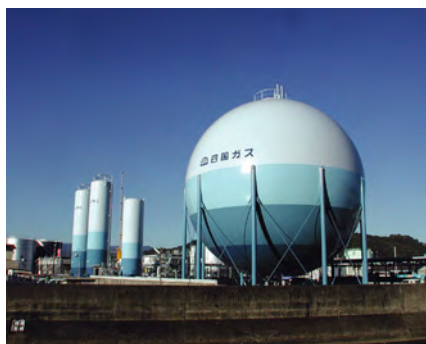


推奨色 **2.5YR 3/4** **5YR 8/1** **5Y 9/1** **2.5YR 7/1** **2.5GY 9/1** **2.5B 8/1** **2.5Y 8/1** **7.5R 5/5** **2.5Y 7/4**

色相は天然素材に多いYR - Y系。明度は明暗対比（高明度・低明度）もよいが、高層部は明度の高い色が望ましい。彩度は、ベースカラーは低彩度や無彩色とし、アクセントカラーを活用して、街の賑わいを演出する。

⑦ 港湾ゾーン

周辺の建築物、工作物や、自然環境と調和のとれた色を使用する。個性を主張するのではなく、まち全体の魅力を高めるよう配慮する。



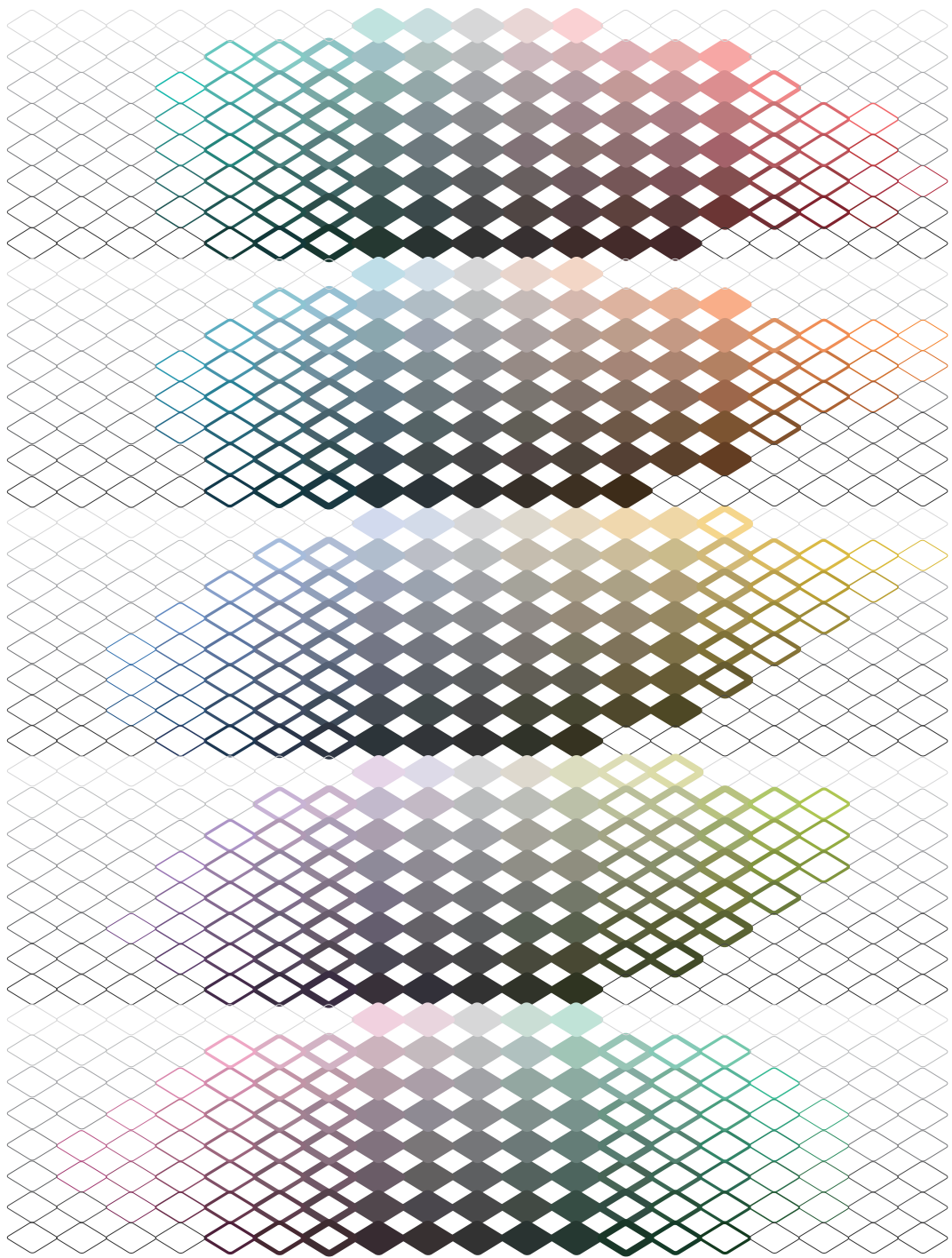
推奨色 **7.5YR 8/2** **N9** **10GY 8/2** **2.5B 4/2** **10B 6/2** **10B 9/2** **2.5Y 9/1** **2.5B 8/1**

色相は天然素材に多いYR - GY系や、海らしいB系。明度は明暗対比（高明度・低明度）もよい。彩度はベースカラーは低彩度や無彩色とし、アクセントカラーを活用して港の活気ある景観を生み出す。

⑧ 避けるほうが望ましい配色

彩度の非常に高い色や、周囲の風景から突出する色を、屋根や壁などの大きな面積に使用するのは、避けることが望まれます。





高知市 都市建設部 都市計画課

〒 780-8571 高知市本町5丁目1番45号

TEL 088-823-9465 FAX 088-823-9454